

2009年度日本人会年次総会における山中大使挨拶
(3月19日(木) 午後8時00分 於：日本人会オーデトリウム)

シンガポール日本人会2009年度年次総会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

私は、一昨年10月に着任して以来1年5ヶ月になりますが、日本人会の様々な活動を目の当たりにするとともに、その多くに参加させていただいています。私は、着任当初この会館の建物・設備の立派さに先ず驚かされました。しかし、それにも増して、日本人会の活発かつ広範な活動、その組織力、そしてこれを支える会員の皆さんの熱意と献身に強く感銘を受けています。シンガポール日本人会は、世界の中でもトップクラスの邦人組織であることは間違いなく、この機会に改めて皆様に敬意を表するものであります。

日本人会は、日本人学校やクリニックの運営、更には、日本人墓地の維持管理など、日本人コミュニティのために欠くことのできない重要な役割を果たしておられます。また、日本人会は、日本人コミュニティを代表してチンゲイ・パレードに参加したり、カラオケ大会を開催したりして、広くシンガポールの地元コミュニティとの交流を図っておられます。更に、ボランティア活動やチャリティー・バザー、チャリティー・ドローなどを通じ、シンガポール社会にも貢献されています。

このような長年にわたる数々の活動が評価され、昨年10月には日本人会が24年間にわたり総額300万ドル以上の寄付を当地のコミュニティ・チェストに行ってきたこと及び、100名を超える会員が10の福祉団体に赴きボランティア活動を行ってきた功績に対し、ナザン大統領からこの程賞としては最高の賞である Pinnacle Award が授与されました。大使館といたしましても、日本人会の活動を高く評価するとともに、大変誇りに思う次第であります。

このようなシンガポール日本人会が今日あるのは、歴代の会長や役員、会員の方々の努力と献身の賜であり、改めて日本人会の「伝統」に敬意を表したいと思います。私は、ここで鈴木前会長、中川前副会長及び石川前副会長の皆様の貢献に賛辞を呈したいと思います。一年間にわたりお三方には日本人会の先頭に立ってリーダーシップを発揮していただきました。ここに心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、本日、選出されました吉村新会長、鈴木新副会長、北川新副会長、その他新役員の皆様に心よりお祝い申し上げます。何卒よろしくお願い申し上げます。新しい幹部・役員の下で、伝統あるシンガポール日本人会のなお一層の発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。